

テニス部顧問の先生方へ

日頃からテニス専門部の職務および活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。
さて、11月に行われた顧問総会での様々なご意見を受け、平成30年度以降の変更点や現在の確認事項の概略をまとめました。
顧問総会で専門部からお願いあるいはご説明した内容と変わった点もありますので、現在顧問をされている先生方におかれましてもご一読していただきたく思います。
また、年度末の異動などともなって顧問間の引き継ぎが必要な場合にもご利用ください。

☆ 継続して顧問をされている先生方にもお読みいただきたいこと

1. ゲームシャツ規定に変更ついて

来年度から「丸首Tシャツタイプ」のゲームシャツが認められるようになります（全国高体連テニス専門部の決定）。11月の顧問総会では、専門部から“長野県としては来年度もこれまで通り「襟付きのゲームシャツ」のみ認める”という方針を示しました。しかし、その後の近県の状況やメーカー側の情報などを総合的に考え合わせ、長野県でも“丸首Tシャツタイプ”も認める”ということで全国の基準に合わせたいと思います。

ただし、「丸首Tシャツタイプ」が認められるのは、あくまで「ゲームシャツ」です。学校の体育着のTシャツやカジュアルTシャツは不可です。スポーツTシャツであっても、練習用のTシャツや規定以上の大きさのロゴがプリントされたTシャツも不可です。メーカーカタログなどに“ゲームシャツ”として掲載されているものに限りませうのでご注意ください。

※ ロゴ … YONEX、SRIXSONなどのメーカーのマークのこと。
テニス競技では、ゲームシャツのプリントできるロゴの大きさや数がルールで決まっています。
詳しくは、全国高体連テニス専門部のHPでご確認ください。

2. セルフジャッジの試合で、審判台に座る者(ロービングアンパイヤ)の職務と権限

長野県テニス協会主催大会などで採用されるセルフジャッジの試合では、審判台に座り試合を監視するアンパイヤがいます。通常、直前にそのコートで行われた試合の敗者がアンパイヤになります。アンパイヤの仕事は、選手のジャッジやポイントのコールに明らかな過りがある場合、即座に訂正することです。そのため、試合中はミスジャッジなどがないか注意深く試合を見ていなければなりません。県テニス協会HPには、ロービングアンパイヤについて以下の注意書きが掲載されています。

「長野県テニス協会ジュニア委員会が主管致します全国大会に繋がる長野県予選大会は、
敗者によるロービングアンパイヤを行います。」
試合で負けた選手は、同じコートの次の試合の審判（ロービング・アンパイヤ）を1試合お願い致します。
審判台に上がり、カウントの確認と、ジャッジの確認、以上2点をお願い致します。
間違っていた場合は、直ちにオーバーコールをし、判定及びカウントの訂正をしてください。
後で変えることは一切できません。その他、試合の中でわからない点等起きましたら、
その場で手を挙げてください大会役員が駆けつけます。

3. 日本テニス協会(JTA)による選手登録制度(JPIN)導入について

2019年度(H31年度)から日本テニス協会(JTA)によるジュニア選手(小学生~高校生)の選手登録制度が導入されます。JPINが導入されると、長野県テニス協会主催の大会には、選手登録をしなければ出場できなくなります。選手登録は、生徒が個人でスマートフォンなどを用いて、長野県テニス協会のHPで必要事項を入力し、登録料の年間1,000円を銀行振り込むことで完了します。また、JPIN導入後、長野県テニス協会主催大会については、学校単位での申し込みでなく、個々の生徒が長

野県テニス協会のHPからエントリーすることになります。実際の導入に際しては、まだクリアしなければならない課題が多く、今後長野県テニス協会と専門部で協議を重ねながら、来年度の前半には詳細を決めていく予定です。

☆ **初めてテニス部の顧問になられた先生方への解説になりますが、継続して顧問をされる先生方もご確認ください。**

年度当初にお読みいただき生徒への指導をお願いします。

大会を主催・主管する団体は以下の2団体です。

大会要項や組み合わせなどは、各々のHPに掲載されます。

◎ **長野県高体連テニス専門部** (<http://tennis.ngn-hssp.org/> 各地区にもHPあり)

… 高校総体および新人戦(選抜大会)は主催、国体予選および新人選手権は主管

◎ **長野県テニス協会** (<http://www.naganotennis.jp/~jr/>)

… 全日本ジュニア、国体予選、新人選手権などを主催

各種大会の申込み方法について

必ず事前に上記HPで申込み方法の確認をしてください。

1. 高体連主催大会は、以下の2カ所(各学校および指定されたアドレス)への申し込みが必要です。

○ **総合体育大会** ○ **新人体育大会(選抜大会)**

- ① 各顧問で高体連への登録をするとともに、各学校の体育科職員(高体連評議員)に大会参加に必要な認知書等の書類を提出。
- ② 高体連テニス専門部専用の選手管理ソフト『れじす太』※1で申し込みファイル(専門様式)を作成し、各地区専門部HPで指定されたアドレスにファイルを送信。その際、体育科に提出した認知書とメール送信した申し込みファイル(専門様式)の内容(登録順位やペアなど)が合致しているよう十分に確認してください。 ※1『れじす太』は高体連テニス専門部HPでダウンロード

2. 長野県テニス協会主催の大会は、以下の2カ所(県テニス協会ジュニア委員および指定されたアドレス)への申し込みが必要です。

○ **全日本ジュニア選手権** ○ **国体予選** ○ **全日本ジュニア選抜室内**

- ① 『テニスのしおり』(長野県テニス協会発行)に掲載されている申し込み用紙を、生徒各自に記入させたいえ回収し、申し込み用紙掲載のページに記載された地区のジュニア委員に郵送。
- ② 高体連テニス専門部専用選手管理ソフト『れじす太』で、申し込みファイル(専門様式)を作成し、各地区専門部HPで指定されたアドレスにファイルを送信。
※ 申し込み期限から数日後に県協会HPに申込者リストが掲載されます。

3. 以下の大会は長野県テニス協会の主催大会ですが、『テニスのしおり』を使った申し込みは不要です。『れじす太』で作成した申し込みファイルを、指定されたアドレスにメール送信してください。

○ **新人選手権の各地区予選** ○ **ヨネックスカップ** ○ **1年生チーム対抗戦**

高体連登録について

高体連登録は全員の登録をできるだけ4月に行ってください。マネージャーも登録してください。

高体連の登録者数や大会のエントリー数によって、各地区に割り当てられる県大会出場枠が変わる大会があります(比例枠)。

テニスウェアについて

全国高体連テニス専門部 HP「2108 年度服装規定」をご覧ください。

1. **背中に学校名が入ったゲームシャツ(試合用のユニフォーム)は認められません。**
学校の体育着は着用できません(上下とも)。
2. **ハーフパンツは丈が膝よりも上でなければなりません。**
シャツ、パンツ、スカートの下にコンプレッションウェアを着用することは認められます。
3. **ウォームアップやウィンドブレイカーはテニス用のものを着用してください。**
背中に学校名が入っても構いませんが、メーカー名やロゴが大きく入る物は不可です。
4. **テニスウェア、キャップ、ラケット(面)にはロゴの大きさなどに規定があります。**
また、ラケット面にロゴ(“ステンシル”)が入ったラケットは使用できません。

審判について

1. **入部後はできるだけ早くルールを覚え、審判ができるようにご指導ください。**
審判の仕方等については、長野県高体連テニスの公式ページの右下にある「テニスハンドブック」をダウンロードしてください。また、テニスのルールは日本テニス協会発行の「テニスルールブック」などを参照してください。
2. **高校総体や新人戦(選抜大会)では、主審と副審を選手および生徒補助員が行うので、試合に出場する生徒は、必ず審判もできるようにご指導ください(顧問や競技役員が審判を行うことはありません)。**
高体連の試合は、全国大会の決勝戦も補助員の生徒が審判を行うのが原則です。この原則の根底には、“コート上の主役は選手だけではない”という高校テニス独自の考えがある点をご理解ください。
3. **長野県テニス協会主催大会は、「セルフジャッジ」が基本です。**
アウトやフォルトをジャッジする審判はおらず、基本的に選手だけで試合を進行します(ネットから自分側のコートの判定はその選手自らが行い、相手のジャッジをお互いに尊重)。ただし、試合に負けた選手は、次にそのコートで行われる試合において、審判台に座ってその試合が正しく行われているか監視しなくてはなりません(ロービングアンパイヤ)。ロービングアンパイヤの職務は、選手が行うジャッジの監視であって、ジャッジとポイントのアナウンスは、あくまでも選手自身が行います。

その他、不明な点は各地区専門委員長にお問合せください。